

障害者（児）実態・意向調査の結果について

1 目的

令和5年度に、令和6年度から令和8年度までの3年間を計画期間とした障害者・児計画を策定するに当たり、その基礎資料を得るとともに、障害者・児のサービス利用状況・希望及び障害福祉サービス等事業所の現状を把握するため、実態調査を実施。

2 調査対象者及び調査方法

本調査では、身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者、障害児、区内障害福祉サービス等事業所及び都内長期入院施設を対象とした量的調査（アンケート調査）と、区内等の障害福祉サービス等事業所を利用する知的障害者及び精神障害者を対象とした質的調査（インタビュー調査）を実施。

3 調査の内容

(1) 量的調査（アンケート調査）

- ① 在宅の方を対象とした調査
- ② 18歳未満の方を対象とした調査
- ③ 施設に入所している方を対象とした調査
- ④ サービス事業所を対象とした調査
- ⑤ 長期入院施設を対象とした調査

(2) 質的調査（インタビュー調査）

属性、日中及び施設での楽しみ、余暇の過ごし方、相談相手、区サービスの利用状況、地域との交流、将来の希望等をグループ・インタビューによって聞き取り

4 実施時期

(1) 量的調査（アンケート調査）

令和4年10月3日～令和4年10月31日

(2) 質的調査（インタビュー調査）

令和4年8月～令和4年12月

5 実施結果

(1) 量的調査（アンケート調査）回収状況

① 区民向け調査

調査の種類	配布数	有効回収数	有効回収率
在宅の方	5,087	2,000	39.3%
18歳未満の方	878	350	39.9%
施設に入所している方	143	85	59.4%
計	6,108	2,435	

② サービス等事業所向け調査

調査の種類	配布数	有効回収数	有効回収率
サービス事業所	95	73	76.8%

③ 長期入院施設向け調査

調査の種類	配布数	有効回収数	有効回収率
長期入院施設	65	53	81.5%

(2) 質的調査（インタビュー調査）

施設（17か所）の利用者94名に対して実施

6 調査結果

別紙のとおり